



## 6 本時のねらい

- お互いの個性を生かしながら、困難を乗り越えた兄弟の心情を通して、自分のよさに気づきよさを伸ばしていこうとする態度を育てる。
- 自分には、友だちに教えてもらって初めてわかるよさがあることに気づく。

## 7 展開

階	ねらい	学習活動と内容	教師の支援
導入	○ 価値への方向付けとめあての把握	1 自分のよさについてアンケートを元に話し合い、本時学習のめあてをつかむ。 ○ 自分が思うよさと、周りが感じているよさに、ズレがあることに気づくこと <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 明るいところや元気なところ。</li> <li>・ 自分のよさはあまり分からない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分のよさについて問うた事前アンケートの結果をまとめ、本時のめあてを明確にする。</li> </ul>
展開前段	○ 読み物資料を用いての価値の追求	2 資料「うめのき村の四人兄弟」を読み、それぞれの個性を生かし村を守った四人兄弟の姿から自分のよさを大切にすることについて話し合う。 (1) 資料を読んで一番感動した所について交流する。 ○ 四人兄弟がそれぞれのよさを活かして村を守ろうとしたよさについて気づくこと。 <b>このお話を読んで、すごいなと思ったところはどんなところでしょう。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ それぞれの特技を活かして村を守ったところ。</li> <li>・ 洪水から村を守ったところ。</li> </ul> (2) 洪水から家を守っている時の兄弟の気持ちについて話し合う。 ○ 活動はそれぞれ異なっても、それぞれのよさを活かそうとした気持ちで村を守ろうとしていたことに気づくこと <b>雨や風が激しくなってきたとき、兄弟はそれぞれどんな気持ちで行動したでしょう。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分のできることを活かして村をまもる。</li> <li>・ それぞれのよさを活かして村を守るぞ。</li> </ul> (3) 嵐の去った後、お父からよかったと声をかけられたときの兄弟の気持ちについて話し合う。 ○ よさを活かすことの心地よさに気づくこと <b>お父から「一人一人が力を出してくれた。」「よかったよかった」と言われたときの兄弟はどんな気持ちになったでしょう。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分のよさを活かすことができよかった。</li> <li>・ みんなのよさを合わせられてよかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 兄弟それぞれの行動に視点が広がるよう資料のまとめ図を準備する。</li> <li>・ 最終的に四兄弟の気持ちの共通点である「自分の力を活かして村を守りたい」という気持ちに着目させることで、思いやり親切や信頼友情等でなく、個性伸長の価値に帰結するようにする。</li> </ul>
展開後段	○ 価値の一般化をはかる	(4) 自分のよさについて感じた事について話し合う。 ○ 自分のよさは、それを活かしたり、伸ばしたりすることが大切なことに気づくこと <b>自分のよさについてこの資料で分かったことはどんなことがありますか。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分のできることをがんばること。</li> <li>・ 得意なことを伸ばすことが大切だと思った。</li> </ul>	
終末	○ 今後の生活への意欲化	4 お互いのよさを交流し、自分のよさに気づく。 ○ 自分が気づいていなかったよさに気づき、伸ばしていきたいという態度を育てること。 <b>みんなそれぞれのよさがあるかを交流しましょう。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ こんなよさがあるのかと思わなかった。これからも、がんばって伸ばしていきたい。</li> <li>・ 自分にはこんなよさがあると分かって嬉しい。</li> <li>・ みんないいところをほめてもらって嬉しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童が学校生活の中で気づいたお互いのよさを記したカードをまとめたものを見ることで、自分の気づいていなかったよさを実感させる。</li> </ul>